



世界に希望を生み出そう

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 右近 八郎
 ガバナー補佐 海老原 三博
 会長 斎藤 孝裕
 幹事 菅野 浩司

2023-24年度
地区スローガン

ロータリーの
誇りを
楽しもう!

2023 - 2024 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 ぽのこころ 吉川屋
 RI会長 ゴードン マッキナー 事務局/〒960-0201 福島市飯坂町字湯町36-6 ☎ FAX (024) 543-1433
 サウス・クイーンズフェリーRC (スコットランド)

通算

3月は水と衛生月間

第32回 [3148] 例会報告

「世界ローターアクト週間(2/11-3/17)」
 令和6年(2024)3月14日(木)

出席委員会報告

会員総数	36名
出席会員	24名
欠席会員	12名
出席率	66.67%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 紺野容樹 副会長

◆ロータリーソング [我等の生業] 白岩裕和 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 伊藤俊憲 委員



◆お客様紹介

- ◆福島東ロータリークラブ 西村修次 様
- ◆新会員 桑原正人 様 [東邦銀行飯坂支店 支店長]

.....lunch time.....

◆副会長の時間 紺野容樹 副会長



本日も例会出席誠にありがとうございます！本日は斎藤会長が所要により欠席のため、副会長の時間となりました。よろしくお願いたします。最初に花もの里枝片付けについて、8名の会員が参加し、選定された枝を片付けました。ここを訪れる観光客の皆様喜んでいただければ嬉しいなど思いながら作業してまいりました。参加いただいた会員の皆様、お疲れさまでした。次に理事会について、家族同伴親睦旅行は4月21日～22日、いわき方面へ予定しております。20名未満の場合は中止とさせていただきます、代わりに21日は晩酌例会となります。次に家族同伴お花見例会ですが、旅行開催の場合はお花見例会はやらないという結論に至りました。県北第二分区分合同例会について、今年度は通常例会と同じ扱いとなります。また、クラブとして飯坂RCのLINEグループを作りましょうという話になり、皆さんに入ってくださいと全体のグループと、理事・役員グループ、次年度の引継ぎのためのグループを作成することになりました。よろしくお願いたします。最後にお願ですが、新しく公式ロゴのロータリーバッジへ変更します。バッジ代として、スマイリングへのご協力をお願いします。また、大変厳しい赤字決算となってしまう状況となっております。前年度の幹事として、非常に責任を感じており、可能な限りスマイリングに協力させていただくことをお誓い申し上げて、副会長の時間を終わらせていただきます。

＜退会の挨拶 渡辺賢司 会員＞ 今回の人事異動により、令和3年3月から3年間、会員として務めさせていただいた飯坂ロータリークラブを退会することになりました。初めてのロータリークラブだったので、優しく迎え入れていただき、良い印象ばかりを持って退会になったなと思っております。主に会計の仕事と今年度はスマイリングボックス委員会をさせていただきました。記憶にありますのが、2年前の福島駅前スポゴミ大会です。斎藤会長や丹野さんと一緒にゴミ拾いをしまして、あの時の紫色の大会Tシャツが家族から褒められたことなど、良い思い出となりました。後任は桑原支店長に引き継ぎます。どうぞよろしくお願いいたします。大変お世話になりました。



渡辺会員へお饗別

＜入会の挨拶/バッチの贈呈 桑原正人 新会員＞ 皆さん、こんにちは。改めまして、東邦銀行飯坂支店長になります桑原正人と申します。私は旧伊達郡の保原町出身で、子供の頃から飯坂には非常に縁があるというか、足を運ばせていただいているところまでございまして、飯坂の歴史をこれから感じながら、皆さんと歩んでまいりたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

◆幹事報告 菅野浩司 幹事

A. 月信 「ロータリー月信」3月号 No.9

B. 来信

- ① ガバナー 右近 八郎 氏より
「地区補助金可能額表」「3月のロータリーレート 1\$ 151円」
- ② 県北第二分区分 次期ガバナー補佐予定者 阿部次雄 氏より
「2024-25年度県北第二分区分第1回会長・幹事会の案内」
とき 4月16日(火) 18:00～
ところ ウェディングエルティ

C. メーキャップ報告 3/10 地区行事 安齋忠作 会員



石川直前会長へ

◆花もの里枝片付け作業についての報告 服部裕一 委員長

社会奉仕委員会よりご報告申し上げます。会員の皆さんに多数ご参加いただきましたので、例年より早く終わり観光協会の職員さんも大変喜んでおりました。「また来年も引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします」と言われてまいりましたので、来年も会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



◆スマイリングBOX 堀切孝敏 委員 【合計35s】

安齋 忠作 会員 5s	花もも公園枝片付けを手伝ってもらって 前欠席おわび
渡辺 賢司 会員 5s	3年間大変お世話になりました。桑原支店長をよろしくお願ひいたします。
紺野 容樹 会員 3s	花ももの里での作業、お疲れ様でした。横山会員のスピーチ楽しみです。西村様をゲストにおむかえして
千葉 政行 会員 3s	・横山さんスピーチ楽しみにしています。・西村さんをゲストにお迎えして
村上 裕司 会員 3s	横山会員のスピーチ宜しくお願いします。
渡辺 達也 会員 3s	横山会員スピーチ楽しみにしています。 前回欠席おわび
佐藤 真也 会員 3s	ゲスト、新会員の皆様をお迎えして！ 花ももの里の枝片付け作業にご協力いただきありがとうございます。
	横山会員のスピーチ楽しみにしています。 鈴木 牧子 会員 3s 横山会員のスピーチ楽しみにしています。
白岩 裕和 会員 2s	横山会員のスピーチ楽しみにしております。 小笠原尚史 会員 2s 欠席おわびです。
島 隆章 会員 2s	花ももの里片付け、行けなくて済みませんでした。
菅野 浩司 会員 1s	本日は花ももの里作業参加された皆様大変お疲れ様でした。また、本日の横山会員のスピーチ楽しみにしております。

◆会員スピーチ 横山辰徳 会員



皆さん、こんにちは。2回目のスピーチですが、前回は大幅に時間をオーバーしまして、今回は時間を見ながらお話しをできればと思います。前回の話をおさらいすると、私は元宮内庁職員で、相馬農業高校卒業後から5年間宮内庁で働いておりました。そこ

では馬車など、馬関係の飼育等をさせていただき、なかなかできない経験をさせていただきました。仕事の内容は外国から大使の方が来る時に、宮内庁から馬車か車両かお伺いを立てますが、大体の方は馬車を選びます。宮内庁の車馬課主馬班という所ですが、2頭の大きい馬で馬車を引いて東京駅に向かいます。大使を乗せて皇居の中に入ると、二重橋を通過して、宮殿の前に横付けをします。大使の方が天皇陛下とお会いになり、信任状をお渡しするのですが、その間、私たちは待機し、また駅へ帰るといった形が一般の

行事の流れです。私の経験の中で一番注目を浴びたのが、故ジョン・F・ケネディさんの娘さんのキャロライン・ケネディさんが大使に就任された時です。正直、職員からすると、どの大使も変わりなく、安全に東京駅まで送迎をするという基本のことを思いながらやっております。私は技術者という技官として宮内庁に入りましたが、他に様々な仕事を当番制で行いました。私がよく担当していたのが園遊会です。園遊会は春と秋の2回あるのですが、その時のドアマンをやらせていただきました。あとは紫綬褒章や勲章の授与式も担当しましたが、そういう場合は何百人の方の先頭に立ち、ご案内役をさせていただきました。私の時は上皇様、平成時代の天皇陛下ですので、イメージとしては本当に穏やかな方でした。今の天皇陛下は、実際に馬を乗りにおいでになっていたのも、何回かご挨拶をさせていただき、秋篠宮様も厩舎にいらっしゃることが多かったです。初めて近くで天皇陛下にお会いした時は、直立不動になりました。オーラがありすぎて、何もしゃべれなかったということがありました。二十代前半を宮内庁の公務員として働いておりましたが、今も「もったいなかったよね」と言われます。私としては良い経験として馬に携わって、こういう形で私の経験した話ができるということ自体も、良い経験なのかなと思います。

宮内庁を5年で退職し、その後は馬術留学でイタリアに3ヶ月ぐらい行きました。滞在中、ホームシックではありませんが、これは合わないなと思うことがいっぱいあって、昼の時間が3時間ぐらいあるのですが、その間にワインなどを飲んで、夕方は白夜で夜の9時頃までずっと明るいので、すごくリズムが崩れました。私もイタリア料理は全然嫌いじゃないので、すごく良い所だったのですが、さすがに毎日パスタとピザは飽きました。でもピザはとてもおいしかったです。日本に帰国する時には、全く何の案内も無く、ただのバス停に降ろされ、そこから自力でローマの駅まで行きました。本当に今でも自分で良くやったなと思っておりますが、帰りはローマのコロッセオなど、街中を散策して、タクシーを使ってローマ駅まで帰ってきました。タクシーを使うのは簡単なのですが、チップも必要ですし、トランク分の料金も取られます。良いタクシーの運転手に当たるか、悪い運転手になるのか、イタリアは結構差が大きいらしいので、日本人だと騙されやすいとかがあるらしく、とりあえず良い運転手だったので、ぼったくられることは無かったです。その後は、椎茸を生産している会社に入社し、そこで3年くらい働き、次は競馬の馬をやりたいと思い、北海道の育成場に1年ぐらいおりました。北海道の三石という所ですが、北海道という場所は本当に寒い所でした。1度、馬に振り落とされて眼底骨折をしまして、それからちょっと馬に乗るのが恐怖になり、その後、母親も体調を壊したので福島に帰ってきました。そして入ったのが農協です。今のふくしま未来、前身のJA相馬ですが、その時には震災も経験しました。そこで7年間働いて、今の不動産会社では、最初は私の奥さんの義理のお父さんの下で経験し、2年前に引き継ぎをさせていただき今に至ります。

不動産業を一生懸命やるのは当然ですが、もう一つ、やりたいことがあります。福島には福島競馬場があるのに、馬に関するものが全く何もありません。そういう観光収入としてある大きなブランドをなぜ使わないのかと思ひ、いろんな活用方法を考えた時に、引退馬の牧場をつくりたいということをやっております。それをどこにつくるのかとなった時に、福島市役所にも行きました。調べてわかったことですが、そういうビジョンがあつて、こうやりたいという時に、そういう場所が無さすぎて、私も不動産業なのですが、これが難しく、その場所を探さないと進められないということがあります。本来であれば、飯坂で観光の一環としてやりたいという想いが正直あります。お金を取って観光してもらおうということではなく、観光のリピーターを増やすという意味合いを込めるには、もう一回来たいなという場所をつくりたいというのがあって、馬の見えるカフェなど、何かできないかなと今考えております。場所的な部分や地域の方のご協力も必要ですので、少しずつ形にしていけるためには、いろんな方のご協力が必要です。私が今まで培ってきた人脈もありますので、少しでも飯坂の地域に対してお力添えできないかと思っております。観光を目的としたカフェなど、例えば、飯坂の行事があつた時に馬を無償で貸し出したり、体験乗馬など、それは全然違う観光の形になるのかなということもありまして、私が考えているのは、福島競馬場があるのであれば、やはり馬を使って何か発展させられるようなことをやりたいと思っております。その中で皆さんにご意見をお聴きしたり、ご協力いただく場合もあるかもしれませんが、その時は教えていただき、私もいろいろと発展できるように考えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。これでスピーチを終わります。ありがとうございました。

◆閉会点鐘 副会長